



『しんきんの絆』

NEWS LETTER

Vol.2



全国の信用金庫はお客様の“想い”とともに、東日本大震災の被災地の復興を応援しています。

『しんきんの絆』復興応援プロジェクトは、東日本大震災により被災した地域の復興のために、民間非営利組織が行う草の根の日常生活の再建や、地域コミュニティ・文化の再生活動など「地域の絆」をつなぐ活動を応援するプロジェクトです。実施にあたっては平成26年に信用金庫が募集した「『しんきんの絆』復興応援定期積金」の募集総額の0.25%相当額について、信金中央金庫を通して、日本NPOセンターの「東日本大震災現地NPO応援基金(特定助成)」へ寄付を行っており、その寄付金をもとに同基金の特定助成として民間非営利団体への助成を行っています。



Project ①

特定非営利活動法人 チームふくしま

(福島)

日常生活の再建事業

福島ひまわり里親プロジェクト

「福島ひまわり里親プロジェクト」は、ひまわりを全国各地でいわば「里親」として育て花を咲かせて採種し、その種を福島の地で「復興のシンボル」として咲かせることにより、日本全国と福島の絆を深めるプロジェクトである。

この活動のきっかけとなったのは、福島県内の若手経営者が中心になって地元福島を元気に盛り上げていこうとして立ち上げた「チームふくしま」が、福島県二本松市の福祉作業所で働く障害者のために2011年から始めた雇用対策からである。その背景には、被災地福島は、原発事故の風評被害が長引き農漁業や観光業などに今なお深刻な打撃を与えており、特に障害者の雇用や自立については、震災前からもハードルが高く厳しい状況にあったが、震災の影響により障害者が仕事できる軽作業などの受注が大きく減少してきたことがある。そこで、ひまわりの種のパック詰めを仕事として作業所に依頼したのである。

ひまわりの種一粒ひとつぶには、「福島と全国をつなぐ絆をつくりたい」、「ひまわりをきっかけに福島に足を運んでもらいたい」、「仕事が激減した障害者の雇用を守りたい」などさまざまな思いが込められている。2014年までの4年間で福島を除く46都道府県で、累計2万件、約11万人(推計)が里親となって福島の復興を願い、ひまわりを育てている。2015年も全国から届いたひまわりの種が、県内の小・中学校、高校、大学はじめ企業や諸団体など2万カ所余りに配布され、ひまわりが県内各地で咲き誇った。これからもこのプロジェクトが福島の復興に希望の花を咲かせることを願いたい。



■ 所在地：福島県福島市

■ <http://www.sunflower-fukushima.com/>

Project ②

一般社団法人さとうみファーム

(宮城)

日常生活の再建事業

地域資源を活用した、仕事づくりとコミュニティの再生

さとうみファームは南三陸町の農林水産業の発展と新規産業や雇用の創出など、地域経済の振興に取り組む団体である。これまでは産業廃棄物として捨てられていたわかめの茎や芯を飼料として育てた「わかめ羊肉」ブランドの確立、子どもたちが羊とふれあい、海や森と親しむ「子ども夢牧場」の開設など、羊を核として地域に幅広いネットワークをつないでいる。

今回の助成では、地域資源を活用した高齢者や障害者の仕事づくりやコミュニティ創出に取り組む。羊の飼育により羊毛が刈りとれるようになったことで、羊毛のワークショップを地域の仮設住宅や小学校など様々な場所で行い、10ヶ月で600名の参加者を得た。現在は羊毛フェルトづくりなどシンプルなワークを行っているが、今後は糸を紡ぎ、草木染体験や編み物や織物づくりなど、よりレベルアップしたワークをすすめていく。ワークショップを通して被災地の女性や高齢者が編み手となることで、在宅での雇用創出にもつなげる。

伝統的に養蚕が盛んであったが、高齢化がすすみ、紡ぎ手が少なくなってきた南三陸町において、羊毛とシルクの混毛をつくり、糸紡ぎのワークショップを行うことで、高齢者の持っている糸紡ぎの技術を伝承していく。さらに、羊毛を洗ったり、ゴミをとったりする作業を地域の障害者施設にお願いすることで、障害者の仕事もつくり出す。

地域のさまざまな資源を結びつけ、新たな仕事の場をうみ、集いの場であるワークショップを実践していくことを通して、新たなコミュニティが紡がれていくことを期待している。



■ 所在地：宮城県南三陸町

■ <http://satoumifarm.org/>

Project ③

特定非営利活動法人 未来図書館

(岩手)

地域コミュニティ・文化の再生事業

10年後の地域を担う中高生と大人の学びあいを活かした復興支援事業

「未来図書館」は、子どもと社会をつなぐことをミッションに2004年に設立された団体で、子どもを対象に仕事に着目した事業を実施することで一人ひとりが自立できる社会の実現を目指すとともに、キャリア教育支援を通じて人材育成の面から被災地岩手の復興を図ろうとしている。その背景には、「高校や大学を卒業すれば安定した仕事につける」という認識がもはや通用しない社会となり、特に岩手県では、地域経済や産業が震災以前から疲弊しており、震災後は若年層の人口流失が顕著となり、子どもや若者の多くに将来への不安や閉塞感が見受けられる状況がある。

キャリア教育支援プログラムとしては、学校を舞台にワクワクする学び合いと刺激を提供する「未来パスポート」と、特定のテーマを設定して話し合う「かだる（「語る」の意）」がある。いずれも多様な生き方や価値観を持ってイキイキとしている大人や人生の先輩（学生含む）と直接触れ合うことで、社会を感じ、働く人を知り、自分を見つめ直し、将来を考える「きっかけの場」を提供するものである。このような場は、教室や家庭では得がたく、子どもたちが自分の将来について具体的にイメージしようとする機会となり、こどもが自己肯定感を抱いて明日への道を切り拓く一助になることを狙っている。

「未来パスポート」に参加した子どもたちからは、「ワクワクした」、「満足した」などの声が非常に多く、学校の先生からも「プログラムをまた行いたい」の回答が数多く寄せられるなど好評である。地域の中高生と大人が触れ合い、そして学び合うことが、「復興のパスポート」となることを期待する。



■ 所在地：岩手県盛岡市

■ <http://www.miraitoshokan.com/>

Project ④

公益社団法人みらいサポート石巻

(宮城)

地域コミュニティ・文化の再生事業

石巻市復興祈念公園予定地における、住民主体の震災伝承

みらいサポート石巻は、2011年5月13日に前身である「一般社団法人石巻災害復興支援協議会」として設立された。災害救援から復興支援への移行、「支援」という一方通行の言葉が石巻の現状に見合わなくなる状況の変化に対応し、2012年11月に「みらいサポート石巻」に名称を改め、石巻のより良い未来に向けた取り組みを行う地域のリーダーや団体とともに石巻を支える活動に方向を定めた。

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市で設立した団体として、「つなぐ 未来の石巻へ」をミッションとして、震災の体験や災害対応記録を伝え、防災意識を涵養するプログラムを提供するほか、健全な地域づくりを促進している。「語り部」による防災まちあるき、石巻中心市街地での伝承スペース「つなぐ館」の運営や、スマートフォン向け「石巻津波伝承」アプリの開発など、様々な人、団体と連携した震災伝承プログラムを実施し、年間5,000名以上の来訪者を受け入れている。

今回の助成では、住民の一割を超える方が津波の犠牲になった門脇・南浜地区に整備される復興祈念公園予定地に新たな伝承施設「南浜つなぐ館」を設け、多くの人を励ました“がんばろう！石巻”の看板とともに震災伝承を行っていく。「南浜つなぐ館」は11月21日に開館した。現在は週末のみの開館であるが、すでに1,600名を超える方が来館している。市内の方が震災前の南浜の模型を見ながら長時間滞在したり、思い出や体験を語るときに市外の方が来て聞き入るなどの交流がうまれている。これからも多くの人をつなげる施設として地域に根付いていくことを期待する。



■ 所在地：宮城県石巻市

■ <http://ishinomaki-support.com/>



第2回助成団体

「『しんきんの絆』復興応援プロジェクト」は2015年4月から第1回助成、2015年10月から第2回助成を行っています。第2回助成では、右図のとおり被災3県の22団体の活動を応援しています。

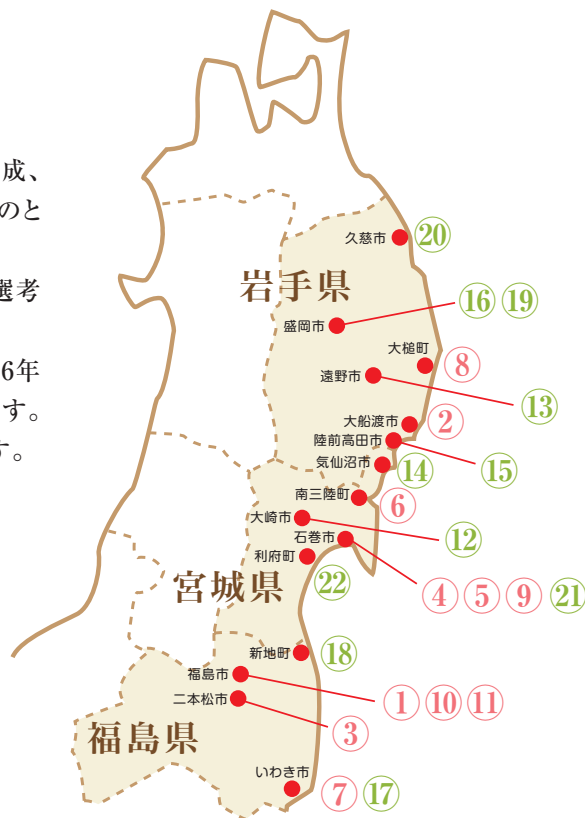
2016年4月から開始される第3回助成については現在選考中で、選考結果は3月下旬に発表予定です。

なお、この「『しんきんの絆』復興応援プロジェクト」は引き続き2016年10月開始の第4回助成、2017年4月開始の第5回助成を行う予定です。復興支援に取り組むみなさまの積極的なご応募をお待ちしております。

■ 助成期間：2015年10月～2016年9月

■ 助成件数：22団体（一般公募枠：11団体
信用金庫推薦枠：11団体）

■ 助成金額：6,740万円（一般公募枠：3,556万円
信用金庫推薦枠：3,184万円）



■ 日常生活の再建事業

	団体名	事業名	所在地
①	特定非営利活動法人 チームふくしま	福島ひまわり里親プロジェクト	福島県福島市
②	特定非営利活動法人こそだてシップ	ママサロンこそだてシップ	岩手県大船渡市
③	特定非営利活動法人 まちづくりNPO新町なみえ	みまもり&移動支援「浪江町民の絆をつなぎ未来につなぐ新ぐるりんこプロジェクト」	福島県二本松市
④	一般社団法人 ところスマイルプロジェクト	石巻市における、震災で心に傷を負った子どもたちと保護者へのアートや遊びを通じた心のケア	宮城県石巻市
⑤	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク	石巻圏域の子育て環境改善のためのプログラム開催事業	宮城県石巻市
⑥	一般社団法人 さとみファーム	地域資源を活用した、仕事づくりとコミュニティーの再生	宮城県南三陸町
⑦	特定非営利活動法人 よつくらぶ	道の駅よつくら港「こども遊び場」	福島県いわき市
⑧	特定非営利活動法人 吉里吉里国	集落営林型自伐林業による生業・街づくり事業～薪が紡ぐ、なりわい・街づくり～	岩手県大槌町
⑨	特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻	マタニティ～未就園児親子の遊び場・居場所作りを通じた、子育て支援活動に関わる人材育成プロジェクト	宮城県石巻市
⑩	福島大学災害ボランティアセンター	「LIFE(生活・人生・いのち)寄り添い」包括サポートプログラム～子どもから高齢者まで～	福島県福島市
⑪	特定非営利活動法人 キッズハウスりんごっこ	放射能や細菌から子ども達を守る屋内砂場の開設	福島県福島市

■ 地域コミュニティ・文化の再生事業

	団体名	事業名	所在地
⑫	特定非営利活動法人 おおさきエネルギーカウンスル	アースデイを通じた新しい価値観創造「おおさきにLOCALISM」プロジェクト	宮城県大崎市
⑬	特定非営利活動法人 遠野山・里・暮らしネットワーク	災害復興公営住宅のコミュニティづくり促進プロジェクト	岩手県遠野市
⑭	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	仮設住宅住民の心身の健康維持・孤立感の軽減と災害公営住宅に係るコミュニティ形成	宮城県気仙沼市
⑮	認定特定非営利活動法人 桜ライン311	東日本大震災の風化防止と災害への意識啓発のための桜の植樹事業	岩手県陸前高田市
⑯	一般社団法人 SAVE IWATE	地域と人をつなぐ祭り・民俗芸能	岩手県盛岡市
⑰	復興さくらの会	被災地復興に向け、さくら基金を活用した桜の植樹及び維持管理に係る事業	福島県いわき市
⑱	安波津野神社例大祭(あなばさま伝承祭り)実行委員会	安波津野神社例大祭用の神輿製作	福島県新地町
⑲	特定非営利活動法人 未来図書館	10年後の地域を担う中高生と大人の学びあいを活かした復興支援事業	岩手県盛岡市
⑳	特定非営利活動法人 やませデザイン会議	寄付が作る、新しい社会参加創造プロジェクト～復興久慈モデルを目指して～	岩手県久慈市
㉑	公益社団法人 みらいサポート石巻	石巻市復興祈念公園予定地における、住民主体の震災伝承	宮城県石巻市
㉒	特定非営利活動法人 幸創	就労継続支援B型・就労移行支援「こうそう」	宮城県利府町